



発行: 毎日コミュニケーションズ
定価: 2,100円(税込み)
ISBN: 4-8399-1649-7
著者: 新納浩幸

RSSについて書籍やウェブで調べようとしても日本語で書かれた資料は少ない。また資料が見つかったとしても専門的過ぎるもの、断片的なものが多かったのではないだろうか? そんなRSSについて体系的にまとめた解説書がようやく登場した。

RSS誕生の歴史的背景や、RSSとXMLの解説から、AtomやFOAFといったフィードについても解説されている。

さらに、そういったRSSに関する技術でもたらされるブログ検索サービスやセマンティックウェブなどについても説明されているので、この一冊を読めばRSSについてほとんど知らない人も、RSSの成り立ちから仕組みまで幅広く理解できる。

また後半では一章を割いてperlを使ったRSSのプログラム作成も解説している。Google APIやAmazon APIを利用したものもあるが、基礎的な内容から解説されているので、プログラミング未経験者やこれからプログラミングを始めようとしている人にもやさしく読める、まさに入門書と言えるだろう。

RSSは今後、メールを超える情報収集やマーケティングのツールとなるとも言われている。ブログやRSSリーダーなどでなんとなくRSSを利用していた人も仕組みがわかれば利用の幅も広がるはず。少しでもRSSについて興味があれば是非とも読んでもらいたい一冊だ。

今月の気になる新刊

『入門RSS』

ブログの流行で注目される新しい情報発信技術を学ぶ

「一日5000通のメールを読む男」が教えるメールの極意 100億稼ぐ超メール術



発行: 東洋経済新報社
定価: 1,365円(税込み)
ISBN: 4-492-50131-2
著者: 堀江貴文

2004年にもっとも話題となった人物の1人であるライブドアの堀江貴文社長兼CEOは仕事で一日に5000通のメールを読むという。本書ではそんな堀江氏の「メール仕事術」を公開している。

本書によるとライブドアではメールリクエストでの日報提出や会議、メールでの情報管理を行っているという。メールで情報を共有し、フラットに会話できるので仕事の大幅な効率化を図れるためだ。そのため、一日に行き交うメールは一般社員でも100~200通になるという。

あなたが会議に無駄な時間を費やしていると感じるなら、一度本書を参考に仕事法を見直してはどうだろうか? ただし堀江氏の仕事術はあくまで1つの例であり、どんな企業にも使えるわけではないが、

メールマガジンだから話せる本音の恋愛白書 男と女の営み

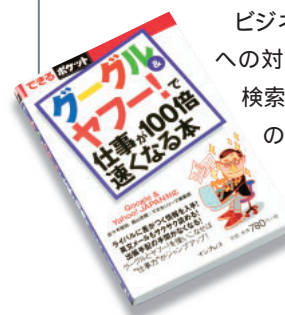


発行: インフォバーン 定価: 1,260円(税込み)
ISBN: 4-901873-32-6
著者: 真田陽一

現在までに、のべ25万人の男女が参加している恋愛アンケートのメールマガジンを書籍化。匿名だからこそ聞ける、フツーの人たちの赤裸々な恋愛観や体験談はまさに何でもアリ。中にはかなり過激な回答も見られます。

これ一冊で2大検索サービスの極意がまるわかり

グーグル&ヤフー!で仕事が100倍速くなる本



発行: インプレス 定価: 819円(税込み)
ISBN: 4-8443-2051-3
著者: 佐々木俊尚、畠山志穂 & できるシリーズ編集部

ビジネス情報の入手から取引先のクレームへの対応まで、シチュエーションに合わせた検索テクニックを紹介。急な出張や仕事上のトラブルもこの一冊があればすべて対応できそう。

編集したアンテナ自身もRSS配信が可能なアンテナサービス

I know.

アンテナサービスとは登録したウェブサイトの更新情報をチェックできるサービスだ。しかもこの「I know.」はRSS非対応サイトの更新確認も可能だ。

登録できるアンテナは100件までで、自分のアンテナページのオンラインでの公開、非公開を選択できる。さらに、アンテナ自体のRSS配信も可能なので、RSSリーダーに自分のアンテナを登録してしまえば、更新情報を一元管理することも可能なので、情報整理の際には強い味方と



URL <http://i-know.jp/>
運営:ライナー・ジャパン

なってくれる。

IDとパスワードを決めれば無料で利用でき、個人情報は一切必要ない。ただし現在アンテナの新規登録は抽選制となっている。

日本語でアクセスできるサイトを探そう

日本語.jp

日本語ドメインについての解説や、登録手順、対応サイトの情報などを紹介している。12月10日現在で2033の日本語ドメインがアクセス可能だ。



URL <http://日本語.jp/> 日本語ドメインに未対応のブラウザからは
URL <http://xn--wgw71a119e.jp/> 運営:日本レジストリサービス

安全なインターネットの第一歩はウイルスを知ることから

ウイルスの恐怖展

ウイルスやセキュリティについて、ドラマやウイルス被害者の体験談、4コマ漫画などのコンテンツから楽しく学べる。2005年1月31日まで公開。利用は無料。



URL <http://www.nifty.com/cvu/>
運営:ニフティ

今月の気になるサイト

『Fotologue.jp』

紹介制で実現するハイクオリティーなアートスペース

ブログの中でも、写真をメインにしたものを「フォトログ」と呼ぶが、アマナの提供する「Fotologue.jp」は今までのフォトログを超えた写真中心のコミュニケーションサービスだ。

トップページにアクセスすると、ブログからアマチュアまでの写真家のフォトログがランキング形式で並ぶ。ユーザー管理画面を含むほとんどのインターフェイスがFlashで作成されており、そのデザインや動きにも驚かされる。またアップロードされたフォトログには、閲覧者がコメントや評価をつけることが可能だ。

現在はベータ版稼働中で、アップロード可能な画像は1画像あたり5MB以下の

JPEGファイルであれば容量制限などはない。ただし2005年1月下旬を予定している正式サービス開始時には容量制限を設定する予定だ。

利用は無料だが、1ユーザーあたり3人までの紹介制サービスとなっている。今後はフォトコンテストなどを開催し、紹介以外でのID発行も検討されているので「友達から誘ってもらえない!」という人も写真の腕を磨いて待てよう。

フォトログ、ソーシャルネットの要素を取り込んだこのサービスは、ウェブを舞台に活躍するクリエイターの発表、そして発掘の場になると同時に新たなコミュニティスペースとなりそうだ。



URL <http://fotologue.jp/>
運営:アマナ



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp